

# 自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号  
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251  
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2011.11.10  
No.1037

発行責任者 柳 進 定価 10円  
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

## 倉田過労死裁判勝利へ

第8回裁判は、いよいよ判決です。法廷外をとりまく傍聴参加を！

- ・とき 11月25日(金) 13:20~
  - ・ところ 名古屋高裁 大法廷
- 裁判終了後、報告集会行います。



# 安心して働ける賃金を!!

## ~ 11.4 全県決起集会 ~

# 力をあわせ勝ちとるんや!!

2011年秋季年末闘争のヤマ場を前にした11月4日、愛労連・自治労連・公務共闘による全県労働者決起集会が開催され、800人が集会・デモに参加しました。

また、県下各単組では、すべての自治体労働者が安心して公務に専念できる、まともな賃金改善を勝ちとるようと、ねばり強い交渉がとられてきています。

名古屋市中区・栄ひろばで開催された全県労働者決起集会は、「公務・公共サービス拡充」「賃下げ反対」「年末一時金改善」など、要求スローガンが大きくかかげられ、たたく決意が示されました。

愛知国公の空議長は「公務員に国民の信頼が得られるような仕事をするという

参加した組合員からは、「公務員の賃金を削減したら、民間も賃下げされ、結果として税収が減り、復興につながらないと思う」と西尾市職・組合員、「現業職で行II表の給料ですが、これ以上の賃下げでは生活できません。みんな力をあわせてがんばっていきましょう」(犬山市職労H・Hさん)、「TPP参加や消費税増税は許せない。副委員長になって初めての参加だが、これだけの人が集まるのを見て希望が持てた」(蒲郡市職・竹下秀和さん)、「これ以上の賃下げは許さん。一緒にが

当局にせまる岩倉市職



「んばりたい」(名水労・組合員)などの感想が多数寄せられました。

**賃下げに理由なし! 団結さらに強め!** 岩倉

10月26日、岩倉市職は秘書課長交渉を行いました。

組合からの「人勤のとりあつかいについて」の問いに当局は、「基本的には、これまでの経緯から考えても、人勤尊重の方針。しかし、政府は復興財源のため、国家公務員給与7・8%削減を優先し、人勤を実施しないことを閣議決定した。よって、人勤をどのようにとりあつかうか、現時点では決めていない。一部では、7・8%削減を地方にも波及させようという動きもある」と回答。

組合は、「県人事委員会では、0・19%のプラス勧告で、賃金を引き下げられ

る理由はない」と主張し、断固たたかうと、次回の交渉にむけて団結を強めて、運動をすすめています。

**この賃金では結婚も子育てもできない!** 豊橋

豊橋市職労は10月27日、交渉をとりくみ、90人の組合員が参加。賃金にかかわって「特例法案や人事院勧告の追従ではなく、人が普通にくらしていきける」「生計費」などをふまえて対応を」と要求。しかし、市側は「国の給料表を参照しているため、人勤を重く受けとめ、尊重したい」と回答。

その後、「青年部のアンケート調査で、80%の青年が賃金面で不安を感じ、結婚や子育てができる水準ではない」と、青年組合員から発言があり、「そうだ!」の声や拍手が巻き起こりました。これをきっかけに次々と怒りの声が上がった、当局は再検討すると回答しました。



切実な要求で訴える豊橋市職労

人員問題では、「産育休対応は基本的に正規で対応」その上で、各職場の課長に実情を聞きながら、適切

正な人員を正規で配置したい」と回答。

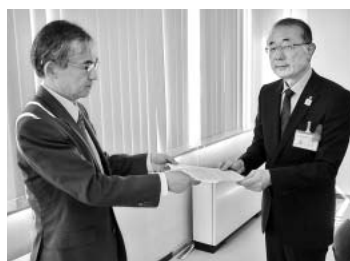
非正規・嘱託職員についての問いには、当局側は、従来「補佐的な業務」といつていたものを、「非常勤でできる一般職の仕事」と言いかえました。それに対し、組合は、「人件費削減をおしつけている」「8200円はあまりに低すぎる」「役所は民間賃金のもものさしにもなり、その基準ではくられない。最低1000円以上あげるべきだ」と強調し、「非正規の実態は、正規と同じ様な業務をおこなっている。必要なら、はきちんと正規にするべきだ」と主張しました。

交渉は3時間半にもおよび、次回もちこしとなりまりました。

## お金よりいのちを

### 秋の自治体キャラバン

10月25日、28日に愛知自治体キャラバンを同実行委員会で行い、県内すべての自治体に「介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充」について要請しました。これまでの成果もあり、「中学卒業までの医療費無料」などの自治体が年々増え、改善もすすんでいます。今年には要請項目に、徴税を強める「地方税滞納整理機構づくり」と、「防災のまちづくり」が加わりました。防災については、ほとん



要請書を渡す永井団長

ん。参加者からは、「税金の滞納者が増えているのは、納税できない経済状況になっているからだ」「納められない生活実態を見ず、移管するのは自治体の責任放棄だ」など、くらしを守る立場からの発言があいつぎました。要請団からは、納税率が下がっていることや、財源不足を理由にとり立てを厳しくし、払えない人は保障の対象から外すという自治体の姿勢に、「お金のある・なしではなく、住民のいのちを守る」と訴えました。

ニクス笑ア7

芝田 ☆ 友衛



セツ共済 安くて安心 掛金 1790円/月 病氣入院 5000円/1日

いのちと暮らしを守れ!

福祉予算削るな 愛知県民集会

子ども・高齢者・障害者の福祉予算の拡充などを求める10・23愛知県民集会が名古屋市・白川公園で開催された。この集会には福祉関係の労働組合(自治労連愛知を含む)と、施設利用者、経営者団体など、実行委員会が呼びかけたもので、およそ1000人が参加しました。

石井実行委員長は、「社会保障と税の一体改革は、消費税を増税するとともに、社会保障の改悪をすす

子ども・高齢者・障害者の福祉予算の拡充などを求める10・23愛知県民集会が名古屋市・白川公園で開催された。この集会には福祉関係の労働組合(自治労連愛知を含む)と、施設利用者、経営者団体など、実行委員会が呼びかけたもので、およそ1000人が参加しました。



守れ人権 NO原発 集会の最後に、「社会福祉における公的責任の後

子ども・高齢者・障害者の福祉予算の拡充などを求める10・23愛知県民集会が名古屋市・白川公園で開催された。この集会には福祉関係の労働組合(自治労連愛知を含む)と、施設利用者、経営者団体など、実行委員会が呼びかけたもので、およそ1000人が参加しました。



「原発NO」、「人権守れ」とかけて、意思表示する参加者

めよつとしている。共同のとりくみを広げて、社会保障制度を充実させよう」と訴えました。

まともな仕事と生活を 青年も要求を声に

10月23日、人間らしい生活、働き方を求めて、全国青年大集会(同実行委員会主催)が開催されました。東京・明治公園に、全国か

つなぐ未来をひらけ 10月29日に名古屋市・港湾会館で行われた県本部青年部大会では、くらしにいけない賃金や、非正規・青年の雇用問題も課題にし、「大きな共同でつながり広がって、未来を切りひらいていこう」と、新年度の方針が承認されました。

運動の前進へ 職場とつながる機関紙 10月29日、30日、愛労連と自治労連が共催で、第16回機関紙・宣伝学校を開催。機関紙の定期発行で、職場との結びつきを強め、組織強化につなげようと、91名が参加しました。



退)や「国民の増税」「福祉の産業化を許さない」などのアピールを採択するとともに、「人権」「NO原発」と書かれた用紙をかかげて意思表示しました。集会後、「福祉予算削るな」「保育園を増やせ」「憲法25条守れ」などと訴えながら米のまちをパレードして市民に訴えました。

10月29日、30日、愛労連と自治労連が共催で、第16回機関紙・宣伝学校を開催。機関紙の定期発行で、職場との結びつきを強め、組織強化につなげようと、91名が参加しました。

の中で、相手の人生を話してもらえるような人になるため、まっすぐ生きて、一度会ったらお友達という精神を心がけている。「取材していると、お互いの考えの一致点があり、心が通う」といい、取材後も手紙やメールなどで連絡をとり、信頼関係を結んでいま

講演する阿部さん 参加者どうしが教えあい、スキルアップ

平和マラソンに参加し、平和の大切さをかみしめながら走りました。(名古屋市職労/中井豊次) 子どもたちが毎日、「おいしい給食ありがとつ」とても可愛くて、嬉しくなります。(西尾市職/岸本真理子)

TOPICS



自治労連あいち役員学校 学習を力に年末闘争勝利へ 役員学校では、愛知学習協会の吉田豊会長が「労働者・労働組合って?なんかにふるーい」をテーマに、労働組合活動の重要性を講演しました。



第15回小牧平和県民集会 350人で集会・デモ行進 「軍事費を震災復興に」「安保条約を破棄させよう」の集会・デモの後、尾中労連や平和委員会の代表者らが小牧基地の機能強化反対を申し入れました。

2011 愛知県民のついで 憲法もって生かして800人 両宮処凍さん、水田洋さんと若者たちが、「憲法」を学び、声をあげ行動することが大切と対談。

